
17th 雪愛 ~せつない のこりび~

遍駆羽御

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

17th 雪愛 くせつない のこりび

【Nコード】

N3579Z

【作者名】

遍駆羽御

【あらすじ】

17th 雪愛 くせつない のこりび 宜しくです。

雪愛 くせつない のこりびく

詩：遍駆 羽御

埋め尽くされた紙 その紙達が与えた叡智
どれだけ社会に役立つのだろう

僕は疑問に思い 今までなんとなく生きてきたよ

彼方まで降り注ぐ雪

その一つ 一つが僕の苦悩と歓びの欠片だった
いつの間にか こんな寒いとこまで来たんだね

失った君の幻影も 叡智の中に潜んでいる

吐く息が白く 悴んだ手を合わせて バス停で待っていてくれたね
少し離れた坂道から 君の微笑む顔 眉を顰めた顔 見ていた

幸せはいつも その場で気付かずに 整理した時にいつも 幸せに
出会う

嬉し涙も 悲しい涙も 僕にはもう 区別がつかない
それでも 思い出して良かったって思えるよ 今でも好きだから

二人なんで別れたんだろうね

今は君と一緒に積み重ねた思い出だけが僕を現実から守ってくれる
ありがとう 愛している

埋め尽くされた光 僕は眩しすぎて蓋をした
その優しい輝きを放つヒトの影

僕はいつも探し　今まで振り返ってきたからもう……

さよなら

彼方まで降り注ぐ雪

その一つ　一つが僕の苦悩と歓びの欠片だった
いつの間にか　こんな寒いとこまで来たんだね

凍り付いた葉も　やがて春の光に導かれる

馬鹿しかやらなかった僕をいつも　やんわりと許してくれたね
始めは反発しかできず　君の心を踏みにじっては後悔したんだ

二人なんで出会ったんだろうね

出会わせなければ君は死なずに誰かと暖かい家庭を築いていた
ありがとう　ごめんね

今も僕は君という光（推進力）　車のヘッドライト（トラウマ）

二つの光の在る過去で　君を助けようとしてる

生きて……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3579z/>

17th 雪愛 ~せつない のこりび~

2011年12月12日04時48分発行